

令和三年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「チルマンズ郡トクウェ第四中等学校校舎及びトイレ建設計画」引渡式

9月1日、令和三年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「チルマンズ郡トクウェ第四中等学校校舎及びトイレ建設計画」により、整備された施設の引渡式が開催されました。

同プロジェクトでは、チルマンズ郡で活動しているNGO「地方イニシアティブ及び開発機構（LID Agency）」により、同地域に住む子どもたちが適切な教育を受けるために教室棟、トイレ及びフェンスが整備されました。

トクウェ第四中等学校は、近隣の4つの小学校から進学した子どもたちが通っている学校です。生徒の数の増加に伴い、教室やトイレの数が足りなくなり木の下で勉強したり、午前と午後で分かれて教室を使う等、適切な学習環境ではないため学校で十分は学習を受けられず、退学してしまう子どもたちが多くいました。施設の整った遠方の公立中等学校に通う子どもたちもいますが、毎朝何キロも歩いて通学する必要があり、これが負担となって退学してしまう子どももいました。さらに、就学年齢にある子どもたちが教育を受けられないために、早期結婚等の問題に巻き込まれる可能性が高い状態にありました。

同プロジェクトにより、教室校舎は1棟から3棟に増え、トイレ棟2棟を新たに建設することにより、200名程度の生徒を受け入れられるようになりました。また、フェンスを学校の敷地に設置することにより、子どもたちの安全性が高まりました。野外で学習していた生徒や遠方まで歩いて通学していた生徒たちがトクウェ第四中等学校で適切な学習環境を得ることができます。

式典では、NGO「LID Agency」ほか地元教育関係者から、我が国の支援により子どもたちが安心して学習に集中できる教室とトイレの建設に対して、感謝の意が述べられました。また、田中大使からは、長年にわたりチルマンズ郡の教育を支援してきたLID Agencyを称賛するとともに、新しく建設した教室、トイレ及びフェンスが、子どもたちにとって有益なものとなり、これを通じ、女子を含めた多くの子どもたちが教育を受けられる社会になってほしいと述べました。



田中大使からのスピーチ



引渡式に参加する生徒たち



正式な開校を祝うテープカット



日本からの支援を示す看板



建設された教室棟



建設されたトイレ